

2021年09月22日

西松建設が自己株買いを発表——受注基盤が格付を下支え

西松建設（証券コード：1820、発行体格付＝A-）は21日、自己株式の取得および自己株式の公開買い付けを発表した。買い付け等の期間は9月22日から10月20日。取得価額の総額は約540億円を上限とし、必要資金は最大500億円の借り入れで賄う予定だ。これまで買い増しを進めてきた大株主のシティインデックスイレブンズらは、本公開買い付けに応募する契約を締結している。

西松建設の2021年6月末時点の自己資本は2000億円強で、自己資本比率は43.3%。自己株買いによって同比率は30%前後に低下するなど、財務的なインパクトは大きい。配当性向70%以上の方針は継続する考えなので、財務の改善は緩やかになるだろう。

それでもR&Iは本自己株買いが格付に与える影響は小さいと考えている。西松建設は近年の好業績を背景に財務の改善が進んでいた。有利子負債には回収確度の高い運転資本見合いが多く、自己株買いの影響を考慮しても、財務リスク評価は格付に見合う水準を維持できそうだ。

財務バランスの悪化が事業面に及ぼすマイナス影響も軽微だろう。R&Iはゼネコンの評価に当たり、受注基盤を重視している。競争力の維持に必要な投資負担は軽く、財務的な制約が受注競争力の低下を招く懸念は限定的だ。手持ち工事も相応にあり、得意とする土木工事は官公需による下支えが見込まれる。こうした受注基盤の強さを生かして、底堅い収益を確保していけよう。もっとも、長引くコロナ環境下で受注環境には不透明感がある。建築を巡る受注環境や今後の財務運営方針、また異業種との協業など中期経営計画で掲げる企業価値の向上策に注目していく。

主任格付アナリスト：安生 琢

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273
株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。